

第 39 回土木計画学研究発表会（春大会）：2009.6.13～14（徳島大学）  
 企画論文部門 セッション討議内容の記録

セッション名：交差点・ラウンドアバウトの安全と円滑（2）	
日付： 6月 14日（日），セッション時間：16：00～17：00	
オーガナイザー・司会者名（所属）：浜岡秀勝（秋田大学），米山喜之（株式会社長大）	
討 議 内 容	セッション全体： ラウンドアバウトの安全・円滑・運用に関わる4編の発表・討議が行われた． ・日本におけるラウンドアバウトの交通容量と遅れの推定方法 ・日本におけるラウンドアバウトの交通運用の提案 ・試験車両を用いたラウンドアバウトの走行実験の運転挙動と主観評価の分析 ・無信号交差点へのラウンドアバウト導入に関する遅れ時間比較等の基礎分析 について活発な議論がなされた．
	（発表番号）発表者名（所属）：（406）吉岡慶祐（名古屋大学大学院） ・日本におけるラウンドアバウトの交通容量の推定方法について、流入部の合計で良いか？ ・交通容量は、1つの流入部についてT型の交差点として、環道交通と流入交通で推定、1流入部あたり600～800台/hである．
	（発表番号）発表者名（所属）：（407）米山喜之（株式会社長大） ・ラウンドアバウトを運用するときの歩行者に対する安全対策は？海外の事例は？ ・海外ではセンサーで道路が光り、運転者に注意喚起を促す例がある． ・環道の中で流出方向がわからなくなるのでは？108で流入部の案内と105で流出部の案内をする．
	（発表番号）発表者名（所属）：（408）宗広一徳（（独）土木研究所 寒地土木研究所） ・試験道路の形状から左方優先と感じられるのではないか？ ・流入部では右方向の車を気にすることに慣れていない、ドライバーの地域特性も考慮する必要がある．
	（発表番号）発表者名（所属）：（409）浜岡秀勝（秋田大学） ・信号の制御は最適だったか？ハーフサイズ（信号制御が60秒）でもラウンドアバウトの方が遅れ時間が短いのか？ ・信号制御は60秒と短い．遅れ時間はラウンドアバウトが短い．

発表件数に応じて適宜追加してください．